

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドステーションバイオレット		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的職員の充実： セラピストが支援時には必ず1名以上いるようにしている	医療的ケア児にとって、呼吸リハや、リラクゼーションは必要な支援なので、デイ利用中にそういったリハを行えるように考慮しています。	
2	学校・他事業所との連携： 個別支援計画や学校の計画などのやりとり、関係期間との相互交換を行い、支援内容を幅広く伝えるようにしている	保護者に連携を取るための同意を必ず行なっている。 学校・並行して利用している他事業所それぞれについて保護者に確認を実施している。	
3	重心連絡会に加入しており、普段より困りごとや相談ごとを議題に上げて会議を実施している	職員に対する専門的内容の研修を連絡会として企画し、実施している。 例えば、障がいサービスの仕組みについてや、看護職員向け呼吸器の研修や、摂食・嚥下の研修など。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族会の開催がなかなかできていない	新型コロナを含めいろいろな感染症が流行しており、なかなか開催することができていない	家族会だけでなく、保護者対象の見学会や防災の体験企画などを実施していくことができたらと考えています。
2	近隣住民や地域の学校などの活動や連携	医療的ケア児・重心児とはなかなか関わる機会が少なく、またどうやって関わっていいかわからないところもある。	他事業所などとも相談し、実際に行われている事業所の活動を参考に、どういった内容がいいのか検討していきたいと思っています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	チャイルドステーションバイオレット
------	-------------------

公表日 令和6年10月25日

利用児童数 令和6年10月25日現在19名

回収数 58%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	73%	9%	0%	9%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	73%	9%	0%	18%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	91%	9%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	91%	9%	0%	0%		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	91%	0%	0%	9%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	18%	0%	9%	73%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18%	0%	9%	64%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	82%	0%	0%	18%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9%	0%	9%	82%		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	73%	9%	0%	18%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	91%	0%	0%	9%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	64%	0%	0%	36%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27%	0%	0%	73%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	82%	0%	0%	18%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	73%	0%	0%	27%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	91%	9%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	82%	9%	0%	9%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	チャイルドステーションバイオレット					公表日	令和6年10月25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	児童が利用している時間帯には、必ずセラピストが常駐しているため、リハビリを行えるようにしています。配置基準以上の職員を配置し、児童一人ひとりに職員が必ずつくようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	カーテンやパーティションで区切ることでより個別活動や静養を行えるよう配慮しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	朝礼や月例会議により実施		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月実施している全体会議で重心児や医療的ケアに関する研修を実施。また重心連絡会でも研修を実施し、職員が参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		100%		令和6年度中に公表予定	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	保護者の意見、セラピスト・看護職員・児童指導員・保育士から意見を聞き取りし、支援計画を策定。また、児童毎に支援会議を実施し、現状・課題・目標などを話し合っている。保護者に対しては、自宅へ訪問したり、来所時に面談を実施し、説明・交付を行なっている。相談支援事業所とも連携し、支援員との情報交換も実施。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童の個別会議を行い看護職員・セラピスト児童指導員・保育士等で問題を出し合い、解決するため支援に必要な内容について統一できるように配慮している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	5領域について、保護者へ図を用い説明を行い、支援内容を定めた上で、児童に必要な具体的な支援内容を実施している。		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職種関係なく、医療的ケア・リハビリなど必要な内容も活かすことができるよう実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節や、その時期に流行している内容を考慮し、集団活動を行えるように策定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	学校終了後、学校休業日それぞれにおいて計画を行い実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	日々の朝礼にて分担当めを行い、職種間での連携を図りながら支援を実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	日々の朝礼にて、前日の振り返りを実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	ご家族様にお渡しする連絡票、事業所内で支援内容やきになったこと、保護者からの伝達内容などを記載するシステムを導入。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	個別支援計画の見直し時期において必ずモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加している。必要な場合には、看護職員やセラピストも同席。また、事業所側から保護者や相談支援員に会議開催の申し出も行う場合もある。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	児童が利用している医療や障がい福祉サービスなどの関係機関と密接に連絡を取り、相互の状況を理解し、支援を実施している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校お迎え時に担任より引き継ぎを受けるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	実施しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	生活介護等卒業後のサービスへ適切に引き継ぎを行えるよう、会議や見学なども実施し、情報の引き継ぎを行なっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%		他事業所が実施されている内容も参考に今後検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100%		こういった協議会（研修なども含め）あるのか、情報がつかみにくい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に保護者へデイでの様子をお伝えし、また連絡票にて記録も実施。家や学校での様子なども普段からやりとりを行なっている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100%		今後保護者向けに研修を検討	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に児童発達支援管理責任者がご自宅にお伺いし、説明を実施しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	個別支援計画書作成にあたり、必ず保護者より意見をいただき、保護者の要望、本人の希望を聞き取りし反映している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画策定時に児童発達支援管理責任者が保護者と面談し、説明を実施、同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	普段より保護者より相談があった場合には、職員間（必要な場合には関係期間）で話し合いを行い、フィードバックしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		100%		感染症の流行に気をつけながら開催を検討
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情の内容について、事業所内で解決できる場合には、職員で会議を行い保護者へフィードバック。必要な場合には行政に相談を行い保護者へフィードバックを行なっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月会報を発行し、保護者へ配布。ホームページ・インスタグラムでも適時発信。また個々の行事については実施した時の写真を保護者へ送付している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	契約時に個人情報使用について説明し同意書を交わしている。会報やインターネットなどでの写真使用についても、取り扱いについての同意をいただいている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		他事業所が実施されている内容も参考に今後検討していきたいと思っております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	1年に1回医療連携用紙を主治医に作成していただいている。また定期的にお薬情報、臨時薬情報などを保護者に提出していただき把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	1年に1回医療連携用紙を主治医に作成していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット・事故報告書については、職員がいつでも見ることができる場所に置いてあり、全職員で情報を共有できるようにしている。また発生した時・月例ミーティング時に情報交換も実施している。ヒヤリハットにならない事象についても、各職員が感じたことをミニヒヤリハットとして記録。各事業所でのヒヤリハットや事故報告も重心連絡会で共有。事故報告書は必ず行政へ報告。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修については、年に2回程度実施。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	拘束が必要な児童に関しては、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」にて、保護者へ説明・署名捺印をいただいている。個別支援計画書にも記載。		